

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第9章 その他の疾病対策等

第4節 健康危機管理体制

とりまとめ担当課：保健福祉局保健医療部健康危機管理体制課

1 課題に対する平成26年度の取組実績

(1) 健康危機管理体制の整備及び充実強化

- 26年8月末に発生したデング熱の国内感染症例に対して、府内では室課長会議を開催して県有施設の具体策の検討を行い、県民に対しても知事メッセージを発信した。（9月）
- デング熱の国内感染症例の発生時の体制整備のため、市町村連絡会議を開催した（9月）
- 県・保健所設置市連絡会議を開催し、エボラ出血熱疑い患者が発生した際の移送体制について、県下統一の方法で行う体制を構築した。（11月）
- エボラ出血熱疑い患者が発生した場合を想定した保健福祉事務所の対応訓練と、米軍と連携した移送訓練の計2回実施した。（11月・12月）

(2) 保健福祉事務所における機能強化

- 健康危機管理に係る専門的人材の育成
 - <概要>
 - ・各保健福祉事務所において、食品等事業者、福祉施設・医療機関等職員、地域住民、市町村等を対象に食中毒、感染症対策、エイズ・結核対策等の講習会、研修会等を開催
 - ・保健福祉局専門職員研修（公衆衛生概論Ⅱ）を保健福祉事務所が開催し、職員が受講
 - ・災害図上訓練の実施
 - 住民意識を高めるため、地域住民のリスクコミュニケーションを図る
 - <概要>
 - ・感染症対策会議（管内病院、医師会等医療関係団体、消防、市町村）の開催
 - ・地域住民等を対象に感染症対策、災害時の食に関する要援護者対策、救急法の普及啓発、食の安全・安心等の各種講演会の開催
 - ・感染症発生情報等のホームページへの掲載

2 参考指標の推移

取組区分	指標区分	指標名	単位	神奈川県			出典等
				H24年度	H25年度	H26年度	

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 健康危機管理体制の整備及び充実強化

評価	A · B · C · D
評価分析	約 70 年ぶりに国内感染症例の流行があった再興感染症のデング熱や、感染した場合の重症化率が高い一類感染症のエボラ出血熱それぞれについて、健康危機管理体制の整備を順調に進めた。
評価理由	デング熱患者が県内で蚊に刺され、感染を広げる可能性が生じた際の対応について、県庁内関係室課会議や市町村感染症主管課を集めた会議で、役割分担や連携について明らかにした。 エボラ出血熱疑い患者が発生した際の移送体制について、第一種感染症指定医療機関との調整を行い、県・保健所設置市で統一した体制をとった。
今後の取組みの方向性	引き続き、健康危機の発生時について安全に迅速に対応できる県としての体制整備と、県民が状況を的確に認識した上で行動できるよう情報提供を行う。

(2) 保健福祉事務所における機能強化

評価	A · B · C · D
評価分析	各保健福祉事務所において、各種専門的な講習会、研修会を開催する等、健康危機管理に係る専門的人材の育成及び住民意識を高め、地域住民のリスクコミュニケーションを図るための取組を実施した。
評価理由	保健所の運営に係る地域における健康危機管理の拠点としての機能強化を図るための課題解決に向けて、比較的順調に進捗している。
今後の取組みの方向性	平成 25 年度に引き続き、保健福祉事務所における健康危機管理の拠点としての機能強化に取り組む。

4 総合評価

評価	評価理由
A	健康危機管理体制の確保及び保健所の運営に係る地域における健康危機管理の拠点としての機能強化については、いずれについても、課題解決に向けて順調に進捗している。

5 特記事項

--